

キャンディネバダの23

全400口 | 1口出資額100,000円(税込) | 総額4,000万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



南米G1馬の母は産駒も堅実無比、父の血が重賞奪取を約束する

現時点における馬体の特徴と適性

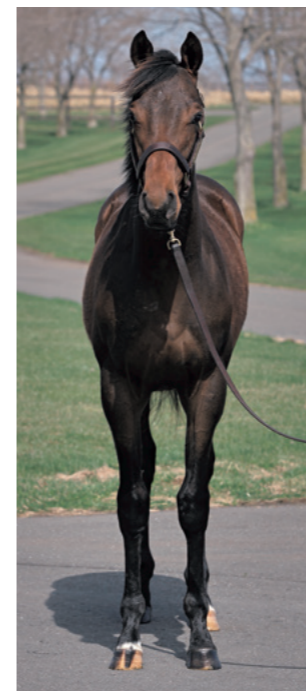
南米の競馬大国アルゼンチン生まれの母は、ポトランカス大賞典、亜1000ギニーと2、3歳時にG1制覇を達成したほか、古馬となつてからもG1フィルベルトレナ大賞典で2着した、文句なしのトップホースでした。日本で繁殖入りし、3勝を挙げたキャンディスイート、平地、障害で計4勝したサトノバシュート、3勝クラス内房Sを勝ち、オープン入りを果たした現役馬ダノンマデイラ、同じく現役で活躍中のワレハウミノコといった優秀な子供たちを多数輩出しています。そして、G1皐月賞馬ジャスティンミラノら、様々なカテゴリーの活躍馬を送り出している名種牡馬キズナを父に迎えて登場してきた牡駒が、本馬ということになります。キ甲から滑らかに抜け出している首差し、今後の大きな成長を予感させる胸前、適度な長さを保持している背中、容積が十分なトモ、伸びの良い胴、特に問題を感じない前肢、臑がスッキリとしている後肢からなる馬体は、立ち姿の美しさも有力なセールスポイント。本格的に実が入ってくるのはこれからですが、持って生まれた筋肉の柔軟性は、競走馬としての強力な武器となってくるはず。スピード優位にマイル重賞戦線を賑わすのか、或いはダート路線の王道か、多岐にわたる可能性を感じさせてくれるニュースターの誕生です。

藤原英昭調教師コメント

血統的には申し分ありません。大きいところを意識できる配合です。馬体ですが今は成長途上の段階、バランスを含め各パーツは悪くないので、順調に成長してくれば良くなってきます。動きには機敏さと力強さを感じ、走ってくる馬ならではのセンスが窺え、身体能力も高そうです。体つきの印象や父がキズナであることから、兄妹のように芝でもダートでも出世できるはず。素質のある牡馬として生まれた以上、ダービーを目指すのは必然です。そして今なら海外遠征だって当たり前。成長過程の中で、ダートで輝きを放つならケンタッキーダービーやドバイワールドカップも視野に入れましょう。細部にわたり気を配り大事に育てていくべき馬、こちらの期待にも応えてくれる馬。牧場や獣医師など、それぞれのプロの技術や知識も取り入れながら、充実したキャリアを作り上げたいと思います。

ディープインパクト	*サンデーサイレンス	Halo
Deep Impact	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
キズナ	Wind In Her Hair	Burghclere
Kizuna		
青鹿 2010	ストームキャット	Storm Bird
*キャットクイル	Storm Cat	Terlingua
Catequil		
鹿 1990	パシフィックプリンセス	Damascus
	Pacific Princess	Fiji
	ストームキャット	Storm Bird
ピュアプライズ	Storm Cat	Terlingua
Pure Prize		
栗 1998	ヘヴンリープライズ	Seeking the Gold
*キャンディネバダ	Heavenly Prize	Oh What a Dance
Candy Nevada		
栗 2009	キャンディストライプス	Blushing Groom
キャンディソラ	Candy Stripes	*ハブルカンパニー
Candy Sola		
鹿 2000	スーパーソラ	Ghadeer
	Super Sola	Bella Sola

Storm Cat:S3×M3 Lyphard:S5×M5×M5



管理予定調教師

藤原英昭調教師(栗東)

◆1965年6月29日生 ◆2001年開業(24年目) ◆JRA通算871勝 ◆JRA重賞62勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- シャフリヤール:日本ダービー(G1)、ドバイシーマクラシック(首G1)
- エイシンフラッシュ:日本ダービー(G1)、天皇賞・秋(G1)
- ストレイトガール:ヴィクトリアマイル(G1)2回、スプリンターズS(G1)
- エボカドー:皐月賞(G1)、日本ダービー(G1)2着
- サクセスブロッケン:フェブラリーS(G1)、東京大賞典(Jpn1)
- トーセンラー:マイルCS(G1)
- ミスターメロディ:高松宮記念(G1)
- ローマンレジェンド:東京大賞典(G1)
- レッドベルオーブ:デイリー杯2歳S(G2)
- レッドベルジュール:デイリー杯2歳S(G2)



ファミリー(母系)

母の父 **ピュア プライズ** Pure Prize は米国産、北米5勝、ケンタッキー カップ クラシックH-G2。重チャンピオンサイアー。主な産駒:ブルー プライズ(B Cディ スタッフ-G1)。**【BMS:主な産駒】**エイト リングズ(アメリカン フェローS-G1)、ケイアーミー(エル エンサーヨ-G1)、*ケアレディー(重オークス-G1)、シレンシア ドラ(ディアナ大賞典-G1)、ピンボール ウィザード(パレルモ大賞典-G1)

母 ***キャンディネバダ** Candy Nevada(09 Pure Prize)亜国産、亜3勝、亜1000ギニー-G1(D1600m)、ポトランカス大賞典-G1(芝1600m)、フィルベルトレナ大賞典-G12着、シビラ賞-G22着、ファン ショー賞-G22着、リカルドP.サウセ賞-G32着、エウドロJ.バルサ賞-G32着、アルトゥーロR.&アルトゥーロプリュリッヒ賞-G23着、ロス グリアドレス賞-G23着、エストレラス ジュヴェナイル フリーズ大賞典-G14着。産駒 キャンディスイート(16牝 鹿 ヴィクトワールピサ)3勝 サトノバシュート(17 騾 黒鹿 ディープインパクト)2勝、障2勝 ダノンマデイラ(18 牡 黒鹿 ディープインパクト)4勝、内房S(D1800m)、千葉日報杯(D1800m)、[Ⓜ] ニューダイアリーズ(19 牡 栗 キングカメハメハ)1勝 ワレハウミノコ(20 牝 黒鹿 キタサンブラック)2勝、[Ⓜ] ラーンザロース(21 牝 黒鹿 キズナ)1勝、シンザン記念-G34着、[Ⓜ]

祖母 キャンディソラ Candy Sola(00 Candy Stripes)亜3勝。産駒 ケイヒル Cahill(牡 Seeking Daylight)亜2勝

曾祖母 スーパー ソラ Super Sola(95 Ghadeer)不出走。産駒

メット デイ Met Day:亜20勝、7月9日賞-G2、同2着、同3着(2回)、同4着、エクアドル賞-G2(2回)、同2着(2回)、プエノスアイレス賞-G3(2回)、サザンヘイロー賞-G3(3回)、ブラジル連邦共和国賞-G3(2回)、ペドロ チャバル賞-G3、Premio Macon H-L、Premio Orange H-L(2回)、ピッペルミント賞-G22着、同4着、インバソール賞-G22着、Premio Japon-L2着、ホアキンS.デ アンチョレナ大賞典-G13着(2回)、ベニトピリヤスエバ賞-G23着(2回)、アメリカ賞-G23着、オラシヨ プステリヨ賞-G33着(2回)、Premio Manuel Anasagasti-L3着、ウベルトF.ピグナルト賞-G24着。種牡馬

四代母 **ベラ ソラ** Bella Sola(81 *ストラダピンスキー)ブラジル4勝、アントニオJ.P.デ カストロ ジュニオール賞-G3

配合診断

砂路線の王道を突き抜けるパワータイプの資質、懐が深い父の血は様々な舞台の頂点へ誘導

母キャンディネバダは南米アルゼンチンの名牝で、現役時代にサンイシドロ2歳牝馬大賞(亜G1・芝1600m)、亜1000ギニー(亜G1・ダ1600m)と、芝とダート双方のG1を制覇しました。繁殖牝馬としては、これまでに競走年齢に達した6頭の仔がすべて勝ち上がっています。母の父Pure Prizeは同国のチャンピオンサイアーで、パワー寄りの適性を伝えます。その影響もあって、キャンディネバダの仔は、平地での13勝中10勝をダートで挙げています。父キズナはディープインパクト産駒のトップサイアー。2024年は種牡馬ランキングの首位を走っています。本馬と同じくStorm Catのクロスを持つ牡の産駒には、ハビ(チャンピオンS3着)やサンライズソレイユ(ユニコーンS4着)がおり、パワーが前面に出てくる傾向が見られますので将来のダート王候補です。